

碧水だより

碧水小秋の大運動会！子ども・保護者・地域も燃える！

平成20年 9月29日発行 第5号
阿蘇市立碧水小学校 文責 麻生廣文
主な記事
(1面) 秋季大運動会(講評から)
阿蘇都市なかよし運動会「ようこそ先輩」
(2面) 運動会スナップ

学ぶ心
鍛う心
磨く心

清らかな碧水の心を育てるために

気力全開！笑顔キラキラ！へきすいっ子！

心を一つに！感動できる みんなが主役の運動会！

九月十三日土曜日。本校の大運動会が恵まれた天気のもと、大きなけがもなく無事に終了しました。私が改めて感じたこと、それは碧水小の子もたちちがすばらしい力を持つていたことでした。一人一人の子もたちちが、自分を信じて、正々堂々と戦っていました。最後まであきらめませんでした。その姿が感動的で、笑顔キラキラで、文字通りみんなが主役の運動会でした。

碧水小学校の種目の一つの特徴は、学年を超えた競技があることです。一・二年生の「妖怪はちやめちや運動会」や「親子玉入れ」は、かわいさの中にははらどきどきしました。三・四年生の「今日のメタリストは？」や「大綱引き」も見応えがありました。部落対抗の綱引きに負けない迫力がありました。五・六年生の口ケツトとばしやヒーローズアゲインの綱取り競争も団体競技として迫力と楽しさがいっぱいでした。昨年度から取り組んだオールスターリレーは低中高学年による全員リレーでしたが、とても盛り上がりました。いつ逆転するかもしれないと、最後まで目を離せませんでした。

しかし、なんと行っても圧巻だったのは、午前中では一・二・三年生のへきすいソラン。あどけなさの中に統率のとれた、すばらしい演技でした。衣装もきれいでした。また、午後の部では、本校運動会の最後を飾る伝統の名物種目の虎舞と役犬原太鼓がすばらしい出来栄でした。四・五・六年生がきびきびとした動きで、静と動、大と小、全体のバランスがしっかりとれていました。グラウンドいっぱい躍動する姿が光り輝いていました。

幼稚園・保育園の皆さんもとても元氣よく走りました。たくましく見えませんでした。来年、一年生として、きつとこの場所を活躍していることでしょう。

さて、今年も運動会を盛り上げたのはなんとと言っても応援団です。優勝したのは宮 団長率いる赤団。残念ながら笹 団長率いる白団は惜敗いたしました。戦いは時の運。一日中、両団が互いに相手の健闘をたたえ合う姿が印象的でした。両団長さんご苦勞様でした。また、それを支えたリーダーの人たちも毎日遅くまで練習して、すばらしい演技ができました。

そして、児童会の運営委員の皆さんも運動会を成功させるために、陰になり、日向になってよくがんばりました。手作りの運動会ということ。これはすばらしいことです。児童会が取り組んだ大会スローガン「気力全開！笑顔キラキラ！へきすいっ子！心を一つに！感動できる みんなが主役の運動会！」は百パーセント達成できました。

また、校区の皆様の競技では、昨年も感じましたが、大変白熱した戦いが繰り広げられました。戦いをおして、仲間意識を育てているのだなと感動いたしました。お父さんお母さんはじめ、校区の皆様のご協力のおかげで、本校児童に「碧水に生まれてよかった」「大人になって碧水にすみたい」という気持ちを育てるのだと思います。市長様にも飛び入り参加していただき、恒例のエールを送っていただきました。

このように本校運動会が大成に終わりましたのも、保護者や地域の皆様のご理解・ご協力のたまものだと感謝しております。特に保護者の皆様には美化作業から、前日の準備、当日の運営・協力まで本当に世話になりました。紙面を借りて御礼申し上げます。(関連記事を二面に掲載)

阿蘇都市なかよし運動会 残念！途中中止

あおぞら学級の

く、郡市内の友達とともに運動会で交流



阿蘇都市の特別支援学級のある小中学校が集まって、例年、「瀬の本高原レストハウス広場」で、なかよし運動会があります。

今年度は、九月二十一日、日曜日。あいにくの天気でした。残念なことに開会式とともに雨が降り始め、午前十時半にはおりの雨と風、雷によって中止となりました。ただ、君くんは開会式での「はじめの言葉」を言う大役があり、しつかりと「がんばります」と言うことができました。

写真は順番を待つ くんです。すぐ隣に担任の兒玉先生もいらつしゃいます。来年は晴れてほしい。

ようこそ先輩！ 佐伯次朗さん(坊中)



夏休みの八月十九日(火)。本校の卒業生を招いて、子どもたちに話を聞いていただきました。ようこそ先輩と銘打った初めての取組です。第一回目の先輩は、坊中出身の佐伯次朗さんです。佐伯さんは現在、東京大学の一年生です。小学生の頃のこと、友達のこと、家族のことなど話をしてくださりました。

以下、最後のまとめの話を要約しました。

賢い子になりましょう。勉強ができることはそれでよい。勉強しなくてもいいことはよくない。勉強以外のことに夢中になれるとよい。整美緑化委員自分で考えるようになること。整美緑化委員先生を驚かすくらい仕事を考えてやる。

ア 積極的に参加できるようにすること。自分の気持ちを相手に伝えていること。好きなことを一生懸命にやってみよう。好きでやれる時間をムダにしないこと。将来のことや、スタジオリの映画会に入りたいこと、ゲームはやりすぎると体に良くない。

ウイ 夢を思い描く。ゲームはやりすぎると体に良くない。

い 感謝の気持ちを持つて、毎日を送りたい。家族、先生、近所の人など自分の周りのみんなの役にたてるようにしよう。友達に、遊んでくれてありがとう。困ったときに助けてくれてありがとう。こんな気持ちを形にして表す。夜寝る前に家族の人の肩をむしる。感謝の心を表れる。先生の前で素直に聞く。これらは全部、感謝の心の表れである。自分で簡単にできることである。

このように話でまとめられましたが、最初の子どもたちの話で、一番心に残ったのは、佐伯さんが「掃除が大好きだ」という話。床やトイレを一生懸命に磨いた話を聞きました。掃除を掃くと、心もきれいになっていくような気がしました。掃除を掃除する、心がすがるようになってくる」とも言われました。掃除を三十名ほどの本校の子どもたちが話を聞きました。あまりよい話だったので、保護者や校区の皆様にもご紹介しました。

好天气を呼び込んだ碧水小学校秋季大運動会！

準備運動はラジオ体操を復活しました。応援歌を全員合唱（指揮・中くん）し、午前の競技が始まりました。



誓いの言葉（6年生）
白団団長 笹 くん
赤団団長 宮 さん

児童会からの言葉（運営委員）
荒 さん
若 さん



はじめのことば（1年生）
横 くん 野 さん
甲 くん 森 さん



碧水五輪の始まり

開会式
河 体育委員長がグラウンド一周の後、聖火に点火しました



1～3年生による、午前の部最大の演技でした。今年は、1年生青、2年生黒、3年生赤の衣装が大変映えました。あおぞら教室の笹くんも大張り切り。

へきすいソーラン



役大原太鼓・虎舞

午後の部の始まりは応援団の演舞。例年のスタイルを受け継ぎながら新しさにも挑戦。

碧水小大運動会の一番の“華”。4～6年生によるものです。太鼓演奏に始まり、鼓笛隊の入場。そして全員が運動場いっぱい広がって虎舞を披露。最後に中央に集まって感動の演舞終了。



PTA会長 荒木富博さんのごあいさつ

写真左は今や恒例となった佐藤市長様のエール。子どもは大喝采。



【低学年の部】
紅白玉入れ



恒例の大綱引き

低・中・高学年の部】
【中学年の部】



優勝旗授与。赤団宮さん。

講義の拍手（運営委員）
左右 佐森 さん



さあ、どっち？
ばんざあい

溝 くん
表に一喜一憂。



成績発表

お願い！



全校ダンス



【高学年の部】
綱取り

恒例となった碧水 HERO'S AGAIN PART 。13本の綱を5・6年生が取り合います。



朝の職員室風景

朝の7時頃の職員室風景です。井野先生と桑原先生が作られた朝ご飯を全員で。

部落対抗リレーで優勝し、旗を持ってゴールインする家入正雄さん



百足競走は午前中に予選。午後に決勝。部落対抗綱引きでは酸欠になりながらの大激戦。部落の名譽かけて負けられない戦いです。



百足競走・綱引き・部落対抗リレー

部落対抗競技